

2011年6月25日発行

第96号



# 友の会ニュース

発行所  
神奈川県東部建設協同組合  
〒216-0011川崎市宮前区犬蔵1-4-14  
TEL044-976-1151  
FAX044-976-0557  
フリーダイヤル0120-633-306  
定価10円  
発行人 白田武美

## 東日本大震災の被災地へ 支援物資を届ける

3月11日午後突然起こった大地震は、関東東北に甚大な被害をもたらしました。特に岩手、宮城、福島の子の被害は言葉にならないほどです。その上、東京電力福島第一原子力発電所の事故により日本はかつてない危機に直面しています。放射線物質は日々洩れ続け、空・地・海を蝕んでいます。その中であって必死で生きようとする人々の力になれないか少しでも応援したいという気持ちから、



当組合でも被災地へ向けてカンパをつくり支援物資を送ることにしました。

今回は宮城県気仙沼本吉民主商工会に物資を届け、陸前高田町の被害状況を見てくることになり、まずは事前に要望されていた大工道具を集めました。声をかけるとあつという間に丸ノコ、インパクト・コンプレッサ等、たくさん道具がそろいました。また、組合員をはじめ高津宮前民主商工会、新婦人、地域の皆様からも生活用品や食品等、たくさんの支援物資が届けられました。

6月3日深夜に白田理事長・梅津副理事長・他2名で気仙沼へ出発しました。

気仙沼本吉民主商工会で壮絶な被害の話を聞きました。地震の揺れの恐怖、津波の恐怖、悲しみ、苦しみ、憤り。私たちが共感することなどとてもできない想像の範囲外の災害だったのです。

会員の1割が死亡又は行方不明という状態で仕事ができる人はいないそうです。

JR南気仙沼駅前の様子を見に行くとその異様な二オイに気分が悪くなりました。いままでにかいだことの無い強烈な腐敗臭、水溜りの中にわいた蛆虫、テレビを



見ているだけでは知ることの出来ない災害の実情を目の当たりにして、ただ呆然とすることしかできません。川にはありとあらゆるものが浮かんでいて、被害の大きさを生々しく知らせています。

気仙沼漁港は地盤沈下のために漁港だった大部分が海水面の下にありました。どこまでが海でどこからが港だったのかわかりません。

その後、陸前高田町にいくと、ここは瓦礫の山だった気仙沼と違い、特段の異臭もないけれど他の何もかもが無いという状態でした。何もかもが津波に流されてしまったのです。こんな風に町の痕跡すらも飲み込む津波の力に身震いがし